



初夏を彩る紅色の花 ヤブウツギ(か?)

2025年5月8日

ゴールデンウィークも終わり、阿南町では少しずつ夏の気配を感じるようになってきました。そんな5月8日、阿南高校の近くで、鮮やかな紅色の花を咲かせる樹木が目にとまりました。

ウツギの仲間のようなのですが、普段見かける白い花とは違い、しっかりとした紅色がとても印象的です。

花の色や形、葉の様子を図鑑やネットで調べてみる



と、どうやらタニウツギ(谷空木)かヤブウツギ(藪空木)のどちらかのようなのです。タニウツギは花色がやや淡く、日本海側に多く自生しているのが特徴。一方、ヤブウツギは花色が濃く、山梨県以西の太平洋側に多いとのこと。今回見つけた花は、鮮やかな紅色ですので、ヤブウツギの可能性が高そうです。ただ、葉にはうっすらと毛が見られ、もしかしたらタニウツギかもしれません。どちらであれ、

ラッパ状の花が枝先に集まって咲き、一つ一つは可愛い姿ですが、ひととき鮮やかで存在感があり、力強い美しさを感じます。



ウツギ(の仲間)といえば、白い花を咲かせるイメージが強く、今まであまり意識していなかったため、今回のヤブウツギ(?)の美しさに新鮮な驚きを感じました。

ツリバナ(吊り花) ~風に揺れる繊細な花~

2025年5月12日

雨上がりの朝、通勤途中のR151号線沿いの道路脇(阿南町西條 井戸入沢付近)で、雨露をまとい、淡く透明感のある小さな花が、枝からいくつも鈴のように垂れ下がっている樹木を見かけました。車を止め近

づいてよく見ると、ツリバナ(吊り花)です。

ツリバナはニシキギ科の落葉小高木で、5月から6月にかけて、5枚の花びらを持つ小さな花を下向きに



咲かせ、中央の可愛い五角形の部分が特徴的です。



真ん中に雌しべが、そして、その雌しべを囲むように、五つの雄しべが規則正しく配置されています。繊細ながらも存在感のある花です。

春の控えめな花とは対照的に、秋には赤い実が垂れ下がります。

この赤い実、紅葉した葉とのコントラストでひととき目を引きますが、実は注意が必要です。ツリバナの果実には有毒性があり、誤って口にすると中毒症状を引き起こす可能性がありますのでご注意ください。